

資源ごみ持ち去りに罰金

津市が条例改正案を上程へ

【津】津市の松田直久市長は二十六日、市役所で定例記者会見を開き、子宮頸がんなどの予防ワクチン接種費用助成、資源物無断持ち去り対策を十二月定例議会に上程すると発表した。

JR名松線復旧についても、報告した。

予防ワクチン接種費用助成は中学一年から高校一年

女子を対象の子宮頸がん予防、生後二カ月から五歳未満の乳幼児対象の小児肺炎球菌と、細菌性髄膜炎の各

ワクチン接種費用を全額負担するとし、補正予算案に加えた。

資源物無断持ち去り対策については市内のごみ一時集積所から、新聞や雑誌、金属などの資源物を無断で持ち去る行為



定例記者会見する松田市長＝津市役所で

が横行しており、持ち去り対策を強化するため、「廃棄物の減量及び処理等に関する条例」を改正。持ち去り行為を禁止する命令に違反した場合、罰金を科すなどの一部改正案を提出するとして、

再開へ向け、JR東海が前向きな姿勢を示した名松線については今後、県や市、JR東海と協議を重ね、「それぞれの意見を聞いて柔軟な対応をしていく」とし、「課題はいろいろあると思いますが、復旧に向けて進めていきたい」と述べた。